

平成 19 年 度
事 業 報 告 書

自 平成 19 年 4 月 1 日

至 平成 20 年 3 月 31 日

財団法人 日本サイクリング協会

実施事業の概要

近年、我が国においては地球温暖化等の環境問題、高齢者に対応する健康維持問題が社会的に取り上げられ、これらの問題を解決するものとして、人や環境に優しい自転車が大きくクローズアップされている。

本協会は、環境省の提唱する「チーム・マイナス6%」運動に賛同し、団体登録しチームの一員として、自転車を活用したサイクルスポーツイベントを通じて積極的に地球温暖化対策に取り組むエコサイクリングを創設した。

また、自転車を利用したサイクリングは、生活に「ゆとり」と「潤い」をもたらし、健康増進に役立ち、身近な生涯スポーツとして幅広い年齢層にわたって定着の兆しが見受けられる。

平成19年度も、このような状況を背景に本協会が目指すサイクリングの普及発達を促進するため、各関係機関のご協力を頂きながら、日本自転車振興会〔(財)JKA〕からの補助金と(社)自転車協会の業界資金からの助成金を得て、以下の事業を実施した。

なお、財団運営の基本事項を策定するため、理事会を3回及び評議員会を3回開催した。

1. 指導者の育成等事業

社会のニーズに応えられ、サイクリングの普及を实践する質の高い指導者を養成するため、インストラクター養成講習会を各都道府県サイクリング協会と連携し、2県協会・2会場で開催し、31名の指導者を養成した。

2. サイクリング大会等の開催事業

サイクリング愛好者の拡大を図るため、各都道府県サイクリング協会と連携し、全国サイクリング大会(参加者約600名)、ブロック大会(同1,515名)、県サイクリング及びサイクルスポーツ大会(同5,925名)、地域ふれあいサイクリング(同約6,000名)を実施し、参加者にその楽しさを実感して貰うとともに、全国の一般市民にサイクリングへの関心を高めた他、マスコミに対し、サイクリングへの関心を高めることができ、更に開催周辺の人々との交流を通じてサイクリングの普及啓発に努めた。

3. 特別普及奨励事業

地方自治体等と連携し、ツール・ド・美ヶ原高原自転車レース大会(参加者2,304名)、シティサイクリング大会(同1,605名)、親子ふれあいサイクリング大会(同43名)、自然共生サイクリング(同65名)を開催し、地域に根ざしたサイクリングの普及を図るとともに、広域に亘るサイクリング愛好者の参加を得る等、地域活性化にも貢献した。

4. 自転車公園開場事業

神宮外苑の周回コースを毎日曜・休日（年間56回）に自動車の交通規制を実施して、自転車を無料で貸出し、サイクリングを楽しんでもらうとともに、児童・幼児等を対象に、乗り方教室を開催し、サイクリングの普及啓発に努めた。（延べ利用者数49,726名）

5. 自転車乗用に関する調査研究事業

自転車乗用機会の拡大の一方策として、全国のサイクリング用道路の整備状況を把握し、広く一般にその情報を提供するため、平成19年度においては大規模自転車道を含めた自転車走行環境の実態を調査して報告書にとりまとめ、道路管理者、行政関係機関及び報道関係機関等に報告・提言をした。

6. 自転車に関する広報事業

自転車乗用人口の拡大を図るとともに、国内自転車産業の活性化を図るため、情報誌「サイクリングジャパン」を発行し、サイクリング大会の案内・紹介及び国内自転車メーカー、部品メーカー等の自転車に関する情報を提供した。

また、インターネットによる広報活動も行い、本協会の事業の普及を図るとともに、賛助会員の拡大に努めた。

7. スポーツ用自転車に関する耐久調査事業

茨城県下妻市の筑波サーキットにおいて、自転車による10時間耐久サイクリング大会を開催（参加者106チーム・約500名）し、参加者使用のロードレーサー、MTB等、比較的高額な自転車、ヘルメット等の用品の使用状況のアンケート調査を行い、結果を報告書にとりまとめ、自転車の生産、流通に係わる諸団体に配布・報告した。

8. サイクリング大会協力事業

地方自治体を中心とし、地域振興の一方策としてサイクリングやサイクルスポーツ大会に対する関心が高まる中、計画事案には積極的に助言、指導を行った他、実施大会の参加者募集及び設営、受付等の開催執務に協力した。

9. サイクリングターミナル関係事業

全国のサイクリングターミナルとの連携を保つため、全国サイクリングターミナル協議会を組織して本協会に事務局を置き、共同PRを推進するとともに、各ターミナルが抱えている問題や運営状況の情報交換を行った。

10. 自転車乗用教室の協力事業

近年、自転車乗用に係る事故の増加傾向を背景に、警察等が開催する自転車安全乗用教室の講師として教室開催に協力した。

事業の実施内容

◎公益事業振興補助事業

1. 指導者の育成等事業

(1) 指導者養成講習会の開催

新たにインストラクター資格を希望する者に指導者養成講習会を次のとおり開催実施した。

(実施地区 2 県協会 2 回 延べ参加者数 31 名)

協会名	実 施 日	実施場所	参加人員
大阪府	平成19年11月 3日～ 4日	河内長野市	15名
北海道	平成20年 2月10日～11日	北見市	16名

(2) 教材等の作成・整備

サイクリングの普及啓発を図るための教材を作成した。

・「サイクリングを楽しむためのウォーミングアップ クーリングダウン」

10,000部

2. サイクリング大会等の開催事業

(1) 全国サイクリング大会の開催

サイクリングに対する関心を全国的に高めるとともに、サイクリング人口の拡大を図るため、全国サイクリング大会を次のとおり実施した。

・開催日 平成19年11月10日～11日

・開催場所 和歌山県和歌山市周辺

・参加者数 約600名

(2) ブロックサイクリング大会の開催

サイクリング愛好者の拡大と指導者の実践教育、情報交換の場としてブロックサイクリング大会を次表のとおり実施した。

(実施地区 6ブロック 延べ参加者数 1,515名)

ブロック名	協会名	実 施 日	実施場所	参加人員
北海道	北海道	8月25日～26日	美瑛町	332名
東北	福島	9月 8日～ 9日	福島市	288名
関東甲信越	群馬	9月 8日～ 9日	渋川市	187名
中部日本	福井	9月 8日～ 9日	坂井市	200名
中四国	徳島	7月 8日～ 9日	鳴門市	308名
九州	鹿児島	12月 1日～ 2日	いちき串木野市	200名

(3) 県サイクリング及びサイクルスポーツ大会の開催

サイクリング愛好者を対象として、各都道府県サイクリング協会において、サイクリング及びサイクルスポーツ大会を実施した。

(実施協会 27県協会・1クラブ 実施回数 延べ45回 延べ参加者数 5,925名)

県協会名	実 施 日	実施場所	参加人員
北海道	平成19年 6月 3日	札幌市	200名
〃	6月17日	深川市	102名
〃	9月 2日	室蘭市	114名
〃	9月 2日	帯広市	86名
〃	9月 9日	本別町	110名
〃	9月23日	網走市	107名
〃	10月 7日	紋別市	109名
〃	10月14日	釧路市	110名
岩 手	10月 8日	盛岡市	87名
秋 田	9月 2日	秋田市	66名
宮 城	6月 3日	名取市	192名
福 島	10月21日	いわき市	190名
群 馬	5月27日	高崎市	147名
埼 玉	5月27日	吉見町	200名
千 葉	7月15日	銚子市	474名
千 葉	平成19年11月23日	君津市	63名
千 葉	平成20年 3月 2日	館山市	245名
新 潟	平成19年 5月26日～ 27日	新潟市	101名
静 岡	5月27日	清水市	92名
静 岡	9月 2日	御前崎市	102名
福 井	7月22日	丹生郡	105名
京 都	9月 2日	亀岡市	50名
京 都	9月23日	綾部市	196名
大 阪	4月 1日～ 10月14日	近畿圏	43名
大 阪	6月 3日	大阪市	150名
大 阪	平成20年 1月 6日	天理市	122名
三 重	11月18日	津市	123名
岡 山	6月 3日	真庭市	155名
岡 山	10月 7日	岡山市	26名
山 口	10月14日	山口市	53名
島 根	10月21日	益田市	159名
香 川	9月 2日	東かがわ市	137名
徳 島	10月21日	徳島市	208名

県協会名	実 施 日	実施場所	参加人員
愛 媛	9月30日	松山市	201名
高 知	11月18日	四万十市	54名
福 岡	9月 4日	福岡市	157名
福 岡	10月14日	久留米市	144名
佐 賀	9月30日	佐賀市	65名
熊 本	9月16日	相良村	144名
大 分	8月 5日	豊後高田市	64名
大 分	10月27日～ 28日	佐伯市	144名
宮 崎	11月18日	綾町	150名
宮 崎	平成20年 1月 6日	宮崎市	78名
ESCA※	平成19年 8月19日～ 22日	館山市	150名
〃	9月 7日～ 9日	北塩原村	150名

※ ESCA (エスカ) = 東日本学生サイクリング連盟

(4) 地域ふれあいサイクリングの開催

全国市町村において、周辺の親子等ファミリー層を対象に、自転車の安全乗車技術やサイクリングの楽しみを周知するため、ふれあいサイクリングを実施した。

・実施回数延べ47回(地区)実施 参加人員 約6,000名

3. 特別普及奨励事業

サイクリング愛好者の拡大と地域振興を図るため、地元自治体との共催により下記の事業を実施した。

(1) ツール・ド・美ヶ原高原自転車レース大会の開催

- ・開催日 平成19年 6月23日～24日
- ・開催場所 長野県美ヶ原高原
- ・参加者数 2,304名

(2) 東京シティサイクリング大会の開催

- ・開催日 平成19年 9月16日
- ・開催場所 東京都新宿区(都庁)～江東区(豊洲)～新宿区(神宮外苑)
- ・参加者数 1,605名

(3) 親子ふれあいサイクリング大会の開催

- ・開催日 平成19年12月 1日
- ・開催場所 東京都調布市京王閣競輪場及び多摩川サイクリングロード
- ・参加者数 43名

(4) 自然共生サイクリング大会の開催

- ・開催日 平成19年 5月20日
- ・開催場所 静岡県富士宮市朝霧高原
- ・参加者数 65名

4. 自転車公園開場事業

サイクリングの普及啓発を図るため、神宮外苑周回の一般公道を交通規制し、下記のとおり自転車公園の開場を実施するとともに、自転車乗り方教室を開催した。

○自転車公園の開場（神宮外苑サイクリングセンター）

開催月	開場 日数	延利用者数	内 訳		乗り方教室
			貸出車	持込車	参加者
平成19年4月	6	7,021	5,309	1,712	601
5月	6	7,131	5,229	1,902	525
6月	4	2,917	2,106	811	292
7月	4	3,292	1,980	1,312	306
8月	4	1,918	855	1,063	150
9月	6	6,849	3,364	3,485	452
10月	4	3,555	2,629	926	317
11月	6	5,564	3,632	1,932	394
12月	4	3,018	2,127	891	231
平成20年1月	5	2,681	1,545	1,136	234
2月	2	998	596	402	75
3月	5	4,782	3,330	1,452	433
合 計	56	49,726	32,702	17,024	4,010

1. 自転車乗用に関する調査研究事業

自転車乗用機会の拡大を目的とし、平成19年度においては、平成17年度、18年度で行った大規模自転車道を中心とした自転車乗用環境に関する研究を踏まえ、大規模自転車道及びサイクリングロードやそれを取り巻く一般道路等で、一部繋がっていない部分を繋ぐことにより、本来有している道路としての機能を効率よく発揮させるという物理的な面、また、事業運営関係での人的、組織的な部分を繋ぐことにより、より有機的な運営が可能になるという「サイクル・リンク」という理念を提唱するため、その実践事例、政策研究を紹介するとともに、自転車走行空間における統一サイン・色彩の事例及び、クルマ止めのデザイン提案等を報告書にとりまとめ、道路管理者・行政関係機関及び報道関係機関に報告・提言した。

・委員会開催状況

平成19年 6月29日 第1回調査研究委員会開催
" 10月30日 第2回調査研究委員会開催
平成20年 1月22日 第3回調査研究委員会開催

2. 自転車に関する広報事業

自転車乗用人口の拡大促進及び国内自転車産業の活性化を図るため、サイクリング大会の案内や紹介・国内自転車や部品等の最新の製品情報を紹介するとともに、自転車に関する内外の最新情報を広く収集し、その情報を広く一般に提供するため、情報誌を次のとおり作成し、会員、関係団体等に送付した。

サイクリングジャパンNo450号発行	14,000部
" 451号発行	14,000部
" 452号発行	14,000部
" 453号発行	14,000部

また、自転車専門雑誌に賛助会員募集広告を行い賛助会員の拡大に努めた。

3. スポーツ用自転車に関する耐久調査事業

茨城県下妻市の筑波サーキットにおいて、調査研究を実施するため大会「2007全日本10時間耐久サイクリング in つくば」を開催し、106チーム約500名の参加者が日常的に接しているスポーツ用自転車に対する意識についてアンケート調査を行い、集計結果を報告書にとりまとめ、自転車の生産・流通に係わる諸団体に報告した。

- ・ 開催日 平成19年 7月14日 (土)
- ・ 開催場所 茨城県下妻市 筑波サーキット「つくば2000」
- ・ 参加者数 106チーム・約500名

1. ブロック別指導者連絡会議の開催事業

全国7ブロックに所属する各都道府県サイクリング協会の代表者と各種情報交換や事業運営等について会議を次のとおり開催した。

- ・北海道ブロック 平成20年 1月26日(土)～27日(日)(札幌市)
- ・東北ブロック // 1月24日(木)～25日(金)(福島市)
- ・関東甲信越ブロック // 2月2日(土)(前橋市)
- ・中部日本ブロック // 2月21日(木)(名古屋市)
- ・近畿ブロック // 2月23日(土)(大阪市)
- ・中国四国ブロック // 2月21日(木)～22日(金)(米子市)
- ・九州ブロック // 2月2日(金)～3日(土)(中津市)

2. 無料法律相談の開設

本協会に顧問弁護士を置き、賛助会員のサイクリングの諸活動、日常生活において生じるトラブルの法律的事案に関し、無料の相談室を開設した。

3. 指導者登録証作成交付事業

本協会が認定したサイクリングインストラクターの新規登録者及び登録更新者並びにサイクリングディレクター(1級・2級)の登録更新者に係る登録・更新を行うとともに、それらの者に対して登録証を発行した。

4. サイクリングの普及推進事業

地方自治体を中心とし、地域振興の一方策としてサイクリングやサイクルスポーツ大会に対する関心が高まる中、計画事案には積極的に助言、指導を行った他、実施大会の参加者募集及び設営、受付等の開催執務に協力した。

- ・開催協力 第21回全日本マウンテンサイクリング in 乗鞍大会
平成19年 8月25日(土)～26日(日)
- ・開催協力 2007Mt.FUJIエコサイクリング
平成19年10月13日(土)～14日(日)

5. その他の事業

(1) サイクリングターミナル関係事業

全国のサイクリングターミナルを効果的に活用するため、全国サイクリングターミナル協議会の事務局として、今治市サイクリングターミナルにおいて総会を開催した。

- ・平成19年 7月 5日(木)～6日(金)
28ヵ所のサイクリングターミナルの共同PRを推進し、利用促進を図った。

(2) 自転車乗用教室の協力事業

近年、自転車乗用に係る事故の増加傾向を背景に、警察や交通安全協会等が開催する自転車安全乗用教室等の講師として9ヵ所の教室開催に協力した。

【会 議】

1. 理事会

*第124回理事会

日 時 平成19年 6月20日(水) 午後1時30分～3時30分
場 所 日本自転車会館 3号館4階会議室
議 案 第1号議案 平成18年度事業報告(案)について
第2号議案 平成18年度収支決算(案)について
第3号議案 会長・専務理事の互選(案)について
第4号議案 日本自転車振興会補助事業の実施について

*第125回理事会

日 時 平成19年 7月 1日(日) 午前10時00分～11時
場 所 日本自転車会館 3号館5階会議室
議 案 第1号議案 会長・専務理事の互選(案)について

*第126回理事会

日 時 平成20年 3月26日(水) 午後1時30分～3時
場 所 日本自転車会館 3号館4階会議室
議 案 第1号議案 平成19年収支予算の一部変更(案)について
第2号議案 平成20年度事業計画(案)について
第3号議案 平成20年度収支予算(案)について

2. 評議員会

*第73回評議員会

日 時 平成19年 6月18日(月) 午後1時30分～3時30分
場 所 日本自転車会館 3号館4階会議室
議 案 第1号議案 理事の選出(案)について
議 題 第1号議題 平成18年度事業報告(案)について
第2号議題 平成18年度収支決算(案)について

*第74回評議員会

日 時 平成19年 9月25日(火) 午後2時00分～3時
場 所 日本自転車会館 3号館4階会議室
議 案 第1号議案 理事の選出(案)について

*第75回評議員会

日 時 平成20年 3月25日(火) 午後2時30分～3時30分
場 所 日本自転車会館 2号館8階会議室
議 案 第1号議案 監事の選出(案)について
議 題 第1号議題 平成19年度収支予算の一部変更(案)について
第2号議題 平成20年度事業計画(案)について
第3号議題 平成20年度収支予算(案)について